

将来世代に負担を残さない廃棄物処理を

質問者 井 上 一 也

ごみ処理は、町民生活を支える最も基礎的な行政サービスである。一方で、ごみ量の減少が進む中、清掃工場の施設規模や将来の更新、広域処理のあり方については、長期的な視点での検討が必要不可欠である。施設の更新には多額の財政負担と長い準備期間を要する。こうした状況を踏まえ、将来世代に過度な負担を残さないためにも、現時点での町の課題認識と、今後どのような姿勢で廃棄物行政に向き合っていくのか、町の見解を伺う。